



テーラーメイド QOL プログラム開発研究センター

平成31年2月1日発足

個人の健康状態に合わせたテーラーメイド QOL プログラムの確立へ

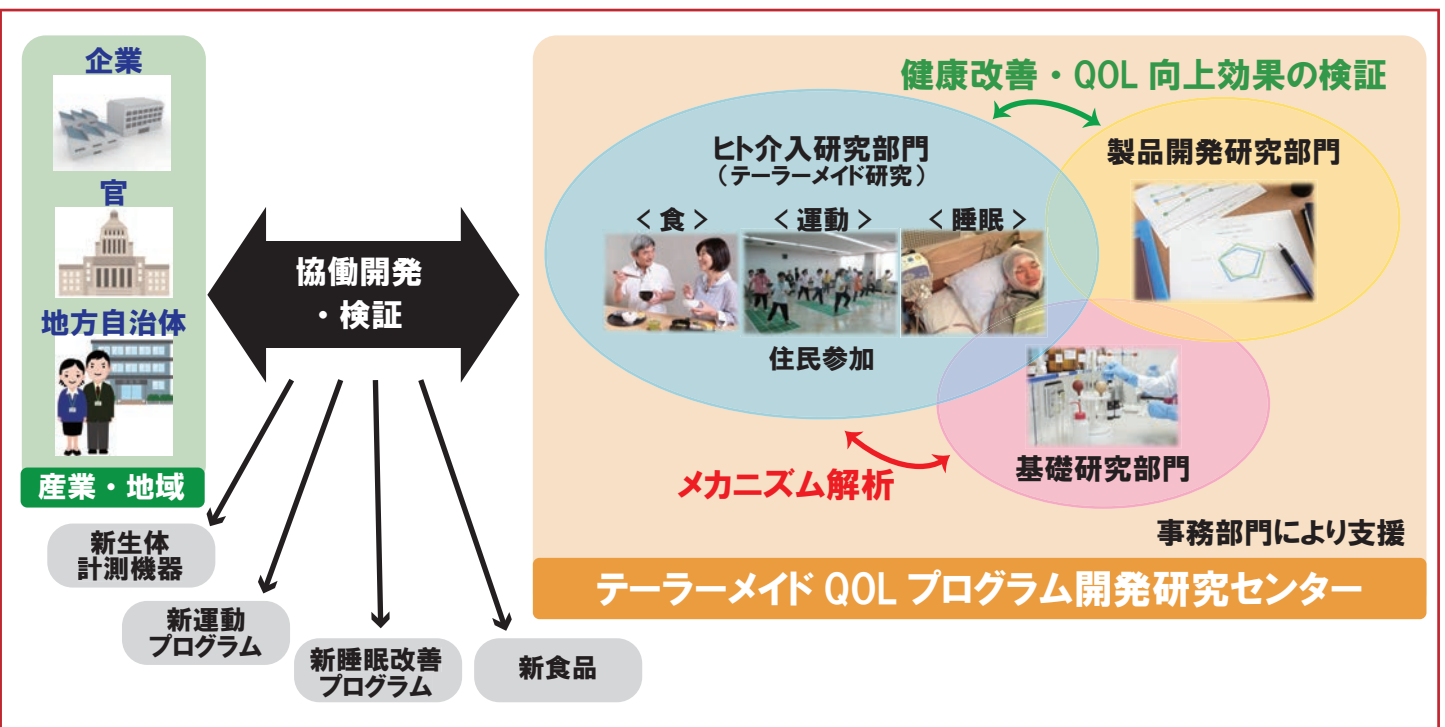
テーラーメイド QOL プログラム開発研究センターは、健康状態の改善と同時に QOL (Quality of Life) を維持・向上させる画期的なテーラーメイド・プログラムを国内外に発信することを目的としています。

医療費削減は喫緊の課題となっており、国の方針も「治療から予防・改善」といったコンセプトにシフトしています。人生の最後は長期間寝たきりになることが多いという現状から脱却し、QOL を向上させることにより健康寿命が延び、尊厳を持って元気に暮らせる社会を実現する必要があります。これにより、医療費の大幅な削減につながるだけでなく、高齢者のイメージを変え、社会における人的資本・知的資本の蓄積・活用を生み出すことが期待されます。



磯田 博子センター長

センターのミッション



食・運動・睡眠を一体化した テーラーメイド QOL プログラムの開発

住民一人ひとりの QOL 向上を実現する



グローバルな展開